

事務事業マネジメントシート (21年度実績と22年度計画)

22年度予算確定後 平成 22 年 月 日 作成  
 21年度決算把握後 平成 22 年 5 月 21 日 作成

事務事業名	中小企業者店舗等近代化融資金利子補給事業					<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	3	働く人々が輝き続けるまちづくり			所属部	産業振興部	課長名 米澤 俊一
	施策	12	商工業の振興			所属課	商工振興課	担当者名 渡辺 良輔
	基本事業	34	生産・販売力の強化			所属班	商工・企業誘致班	(内線) 1253
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	成果優先度評価結果	
	1	7	1	2	10311		コスト削減優先度評価結果	
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 21年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)				

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細、期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	中小企業者店舗等近代化融資金に係る利子補給の事務 商工業者の育成・支援のため店舗等を新築及び改修の際の借入金の利子を補給するものである。 利子補給に関する規則(平成3年4月)の施行。 合併前は旧合志町は実施、旧西合志町では実施していなかった。合併により旧西合志町エリアにおいても摘要が拡大した。
【業務の流れ】	店舗の新築及び改修に関して、500万円、利率8%を限度として36ヶ月分の利子補給を行なう。初年度申請の際に審査会を開催する。その後は、年に1回の支払い。申請(実績)受付、初回時のみ審査会、交付決定、支払
【主な予算費目】	補助金
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	店舗の新築、改修以外の設備投資(自動車購入費用、大型家電設備などの購入)にも摘要してほしいとの意見があった。 補助率を5割ではなく全額にしたらどうかとの意見があった。

1 現状把握の部(DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動) 21年度実績(21年度に行った主な活動)(DO)	22年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
市広報や市HPに掲載、また、商工会からも会員、非会員への周知を行なってもらう周知徹底を図る。 21年度は9件(新規4件、継続5件)を認定し補助をした。	21年度実績を基に22年度も引き続き同様の活動を展開していく。
④活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位)	(単位)
→ ア 利子補給者数 人	イ
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	⑤対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)
利子補給申請者	→ ア 利子補給新規申請者数 人
	イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑥成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)
中小企業者の育成、支援のために店舗等の改善に伴う借入金の利子補給を行うことにより店舗等の改善を行ないやすくする。	→ ア 利子補給件数 件
	イ 利子補給金額 円
*⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	19年度 実績(決算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	21年度 実績(決算)	22年度 目標(当初予算)	23年度 予定	24年度 見込
④ 活動指標	ア 人		7	7	10	9	9	9	9
	イ								
⑤ 対象指標	ア 人		3	1	3	4	4	4	4
	イ								
⑥ 成果指標	ア 件		7	7	10	9	13	13	13
	イ 円		182,606	218,471	230,000	187,377	230,000	230,000	230,000
投資 入 量	事業 内 訳	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		繰入金	千円						
		一般財源	千円	183	219	230	188	230	230
	(A) 事業費計	千円	183	219	230	188	230	230	230
	(A)のうち指定経費	千円							
	(A)のうち時間外、特勤	千円							
	人 件 費	正規職員従事人数	人	3	2	2	2	2	2
延べ業務時間		時間	185	102	200	102	200	200	200
(B)人件費計		千円	734	408	796	406	796	796	796
トータルコスト(A)+(B)		千円	917	627	1,026	594	1,026	1,026	1,026

総トータルコスト	
全体計画	
~ 年度	
(期間限定複数年度のみ記載)	
	0
	0
	0

谷志市

事務事業名	中小企業者店舗等近代化融資金利子補給事業	所属部	産業振興部	所属課	商工振興課
-------	----------------------	-----	-------	-----	-------

## 2 評価の部 (SEE)

\*原則は21年度の事後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①21年度目標達成度評価 事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 ↷
	②22年度目標達成見込み 事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ↷
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ↷
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 ↷
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ↷
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ↷

## 3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

申請から認定業務までスムーズに実施できたが、新規申請者の中に要件を満たしていたがこの制度を知らず21年度申請する事となった者がいた。22年度は更に周知徹底を図り申請漏れがないようにしなければならない。

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 申請漏れがないよう周知徹底を図る。	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																				
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>△</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td>△</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			△	低下		
				コスト																	
		削減	維持	増加																	
成果	向上		○																		
	維持			△																	
	低下			△																	

## (3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

制度周知のための市広報、市HPの活用  
商工会による会員、非会員への周知  
現在は、店舗の新築及び改修が対象となっているが、設備投資についても摘要させるか検討を要する。